

擁壁設置工事及びエレベーター設置工事の実施を延期し、近隣住民と協議の場を速やかに設けることを求める請願

I 理由

- ①町田市は上記各工事の計画の初期の段階において、近隣住民の意識調査のためアンケートを実施すべきであったが、これを一切行わなかった。
- ②そこで今回、芹ヶ谷をより良くする市民の会と芹ヶ谷公園近隣住民有志の会は、コラボして近隣住民に対して別紙の通りのアンケートを実施した。アンケートの項目は国際工芸美術館本体の建設・アート体験棟エレベーター等及び擁壁設置工事に関するものである。アンケートの配布数は350通、回答者数は186通で回答率は53%であった。
- ③エレベーター設置工事に関しては、60%（129人）の人が知っているとの回答であったが一方、住民にしつかり説明すべきが72%（132人）であり、計画を見直すべきであるという回答が69%（125人）であった。
- ④擁壁工事に関しては、56%（93人）が知っているという回答であった。その工法に関しては盛土をしない環境配慮方式が望ましいとする人が82%（152人）であった。
- ⑤また、アンケートの最後に意見欄を設けたが、エレベーター棟の設置に関しては設置賛成者よりも設置反対者の方がかなり多かった。理由は樹木を伐採することに反対するというのが大半であった。
- ⑥アンケートの結果を総合的に俯瞰すると、町田市の計画はある程度知っているが、この計画に賛同しない、他の案を検討すべき、白紙にして見直すべきであるという意見が大勢を占めている。

I 請願項目

よって、要旨に記載の通り、擁壁設置工事及びエレベーター設置工事の実施を延期し、近隣住民と協議の場を速やかに設けることを請願する。